

令和8年度 第216回 臨床研究審査委員会議事録

○開催日時	令和8年6月16日(火曜日)	17時00分～17時31分
○開催場所	高知医療センター 2階 「やなせすぎ」	
○委員等の出席状況		
委員長 今井 利(出) 副委員長 公文 登代(出)		
委 員	徳丸—哲平(欠)、根来 裕二(出)、上野 晃子(出)、町田 拓哉(出)、浦田—知之(欠)、 有澤 良子(出)、高橋 志保(出)、竹崎 陽子(出)、橋田 真佐(出)、 高平 豊(出)、青地—千亜紀(欠)、小谷 小枝(出)、川田 瞳(出)、 江口 文子(出)、谷内 恵介(出)、梅原—省三(欠)、夫川—惺曠(欠)、市村 晶徳(出)、 相澤 紗希(出)	
オブザーバー	尾崎 和秀(出)	
《敬称略》		
議事録	薬剤局	高平 豊

議 事 の 概 要 等

1 当日審議

(1)【保険適応外診療(手術)】骨盤臓器脱(子宮脱・直腸脱)に対する、外科・婦人科合同ロボット支援下メッシュ固定術(婦人科がロボット支援下仙骨腔固定術もしくは子宮全摘術を予定する際に、直腸固定手術をロボットで施行する。)

申請者：消化器外科・一般外科 稲田 涼 吉岡 貴裕
婦人科 上野 晃子

內容：資料2-1

【判定】一旦保留・再審議

(説明)

消化外科と婦人科からの「保険適応外診療手術で骨盤臓器脱に対する外科・婦人科合同ロボット支援下手術」について審議を行った。資料2を参照し、担当の吉岡先生から説明があった。

本件は骨盤底筋緩みによる子宮脱と直腸脱の併発例に対し、両者を同一手術で処理するものである。子宮脱手術は既に保険適用されているが、直腸脱に対するロボット支援下手術は未適用である。従来、直腸脱手術は腹腔鏡下で行われており、ロボット支援により安全性と利便性が向上する。患者にとっては2回の手術に分けるよりも1回で終わられるためメリットが大きく、特に合併症リスクの低減につながる。

しかし、直腸脱手術のロボット手術が保険収載されていないため、一連の手術として行った場合混合診療の問題が生じる。機材費は償還が可能であるが、直腸脱手術の手技料は病院負担となる。患者への明確なメリットがある手技であるため申請に至った。

(審議)

審議にあたり、医療事務担当者より、R8.3.5 厚労省通知＜別添 1＞医科診療報酬点数表に関する事項から、本申請に該当する項目の説明があった。保険適用医療と非適用医療を同一患者に対して同時に行う場合、原則として全体が自費診療となるか、または両方を保険診療とするかとなり、今回のケースは混合診療に該当する。

(結果)

- ・厚生支局への問い合わせを行い、その結果に基づき判断する。
- ・次回、再審議とする。

2 迅速審査にて承認済みの案件

(1) 【臨床研究】頸椎損傷に伴う外傷性椎骨動脈解離の治療方針

申請者：脳神経外科 福田 真紀

内容：資料 1－1

(2) 【臨床研究】肝受容体シンチグラフィにおける投与手技が肝機能指標に与える影響

申請者：医療技術局 久米 利明

内容：資料 1－2

(3) 【臨床研究】令和 8 年度日本臨床検査学教育協議会 模擬試験問題作成

申請者：医療技術局 平井 裕加

内容：資料 1－3

(4) 【臨床研究】当院で鑑定した放火の 6 例

申請者：こころのサポートセンター 澤田 健

内容：資料 1－4

(5) 【臨床研究】Preoperative Factors Associated with Difficult Cholecystectomy for Acute Cholecystitis in a Real-World Surgical Cohort

申請者：消化器外科・一般外科 田渕 幹康

内容：資料 1－5

(6) 【臨床研究】難治性慢性硬膜下血腫に対する、中硬膜動脈塞栓術の効果

申請者：脳神経外科 福田 真紀

内容：資料 1－6

(7) 【臨床研究計画変更】多施設における自動算出早期警告スコアの評価 RRS システムでの活用

申請者：救命救急科 宮下 浩平

内容：資料 3－1

(8) 【臨床研究計画変更】糞便及び血中の代謝物と腸内細菌叢の網羅的解析による膵癌バイオマーカーの探索 (4)

申請者：消化器外科・一般外科 岡林 雄大

内容：資料 3－2

(9) 【臨床研究終了報告】家族性・若年性のがん及び遺伝性腫瘍に関する診断と研究

申請者：消化器外科・一般外科 吉岡 貴裕

内容：資料 3－3

3 臨床研究に係る管理者報告（2026 年 5 月）

次回 第 217 回 令和 8 年 7 月 2 1 日（火） やなせすぎ 1 7 : 0 0 ~